記者発表資料

平成２６年3月２４日
青森河川国道事務所

『 約９割の方が地下道に満足！ 』

「城東さくら地下道」開通１年後の整備効果を調査

国土交通省 青森河川国道事務所では、安全安心な道路環境を実現するために「事故ゼロプラン」（事故危険区間重点解消作戦）に取り組んでおります。この取り組みでは事故データや皆さんの意見を基に「事故危険区間」を選定し、重点的に対策を進めています。
この度、平成２４年度に完成した城東さくら地下道について効果検証を行ったので、お知らせします。

■城東さくら地下道の概要

城東さくら地下道は、国道７号 弘前市城東地区（城東団地交差点）に国道横断者の安全確保等を目的に整備した地下道であり、平成２５年３月１６日に開通しました。

■整備効果の概要

１．開通後の事故発生状況（平成２６年２月末時点）
交差点付近での人と自動車の接触事故０件、自動車の追突事故０件
２．地下道利用者の方は、安全、安心、快適な横断を実感し、地下道を利用する歩行者の約９割は安全に横断できるようになったと回答
３．自動車ドライバーの方は安全、快適、スムーズな通行を実感し、約８割の方が歩行者を気にせずに安全に走れるようになったと回答

（記者発表先）青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

＜問い合わせ先＞

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
住所：青森市中央三丁目２０－３８
電話：０１７－７３４－４５２１(代表)
交通対策課長　松野（まつの） 敏行（としゆき） （内線４７１）

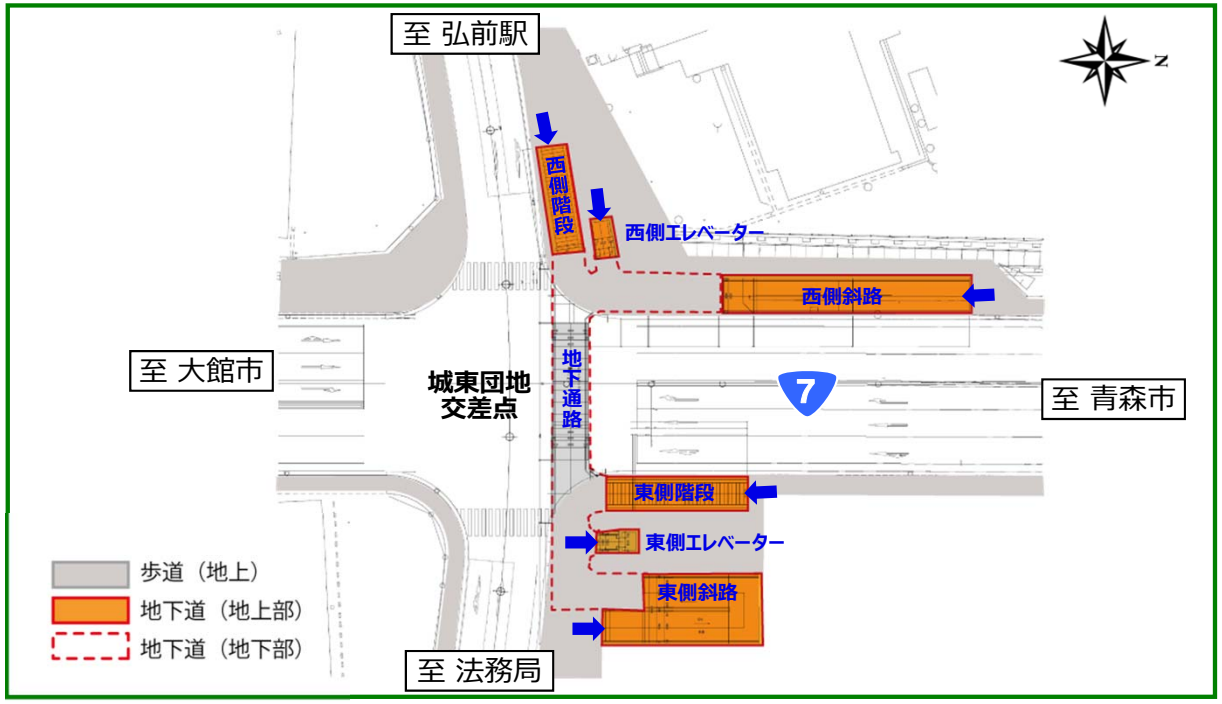
「城東さくら地下道」開通１年後の状況について

○「城東さくら地下道」の概要

●国道７号城東団地交差点において、国道横断者の安全確保を目的とし「城東さくら地下道」が平成25年3月16日に開通しました。
●本地下道の施設には、防犯ブザー、管理カメラ、カーブミラー、緩勾配スロープ、エレベーター等が設置されています。

効果検証箇所





対策前



写真：城東団地交差点を横断する児童

対策後



写真：西側斜路



写真：西側階段地上出入口

「城東さくら地下道」開通１年後の状況について

○開通１年後の整備効果

●国道７号城東団地交差点の利用者や周辺の学校関係者の方に対して、アンケート調査やヒアリング調査を実施し、「城東さくら地下道」開通１年後の整備効果を検証しました。
●地下道利用者や自動車ドライバーの方が、地下道の整備に対して高い満足度を実感しています。

開通後の事故発生状況（平成26年2月末時点）

■交差点付近での人と自動車の接触事故発生件数・・・・・ **0件**

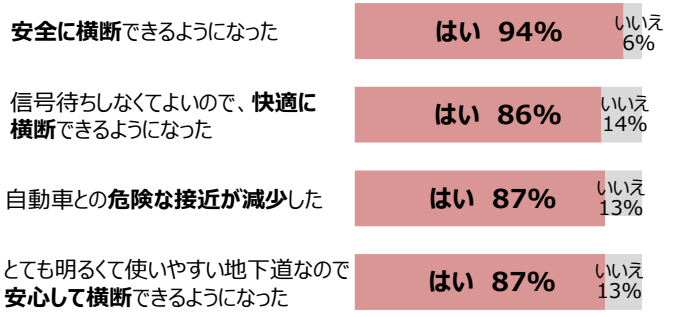
■交差点流入部での自動車の追突事故発生件数・・・・・・・ **0件**

「交差点利用者の実感」による効果評価（アンケート調査結果）

約9割の地下道利用者の方は、安全、安心、快適な横断を実感しています

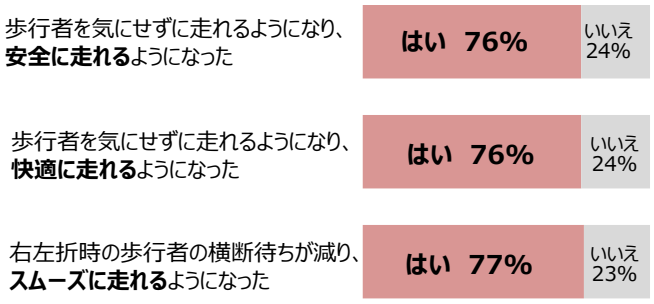
約8割の自動車ドライバーの方が、安全、快適、スムーズな通行を実感しています

地下道を利用する**歩行者**の意識の変化



（回答数 78）

交差点を利用する**ドライバー**の意識の変化



（回答数 127）

出典：Webアンケート調査結果（平成26年2月実施）

地元の小中学校 先生の声

地下道整備後は、地下道を利用する通学路に変更しました。
「地下道は明るく、きれいである」と保護者から好評です。
「地下道は、近未来的なイメージがあり、通行していて気分が良い」と言う児童もいます。



弘前市立
東小学校

運動公園で部活動の県総体が実施された際、応援に行くために全校生徒が地下道を利用しました。
団体で移動する際は、地下道は信号待ちがなく、安全で便利だと思います。



弘前市立
東中学校

出典：地元小中学校へのヒアリング調査結果（平成26年1月実施）

地下道を利用する児童の登下校風景



「城東さくら地下道」開通１年後の状況について

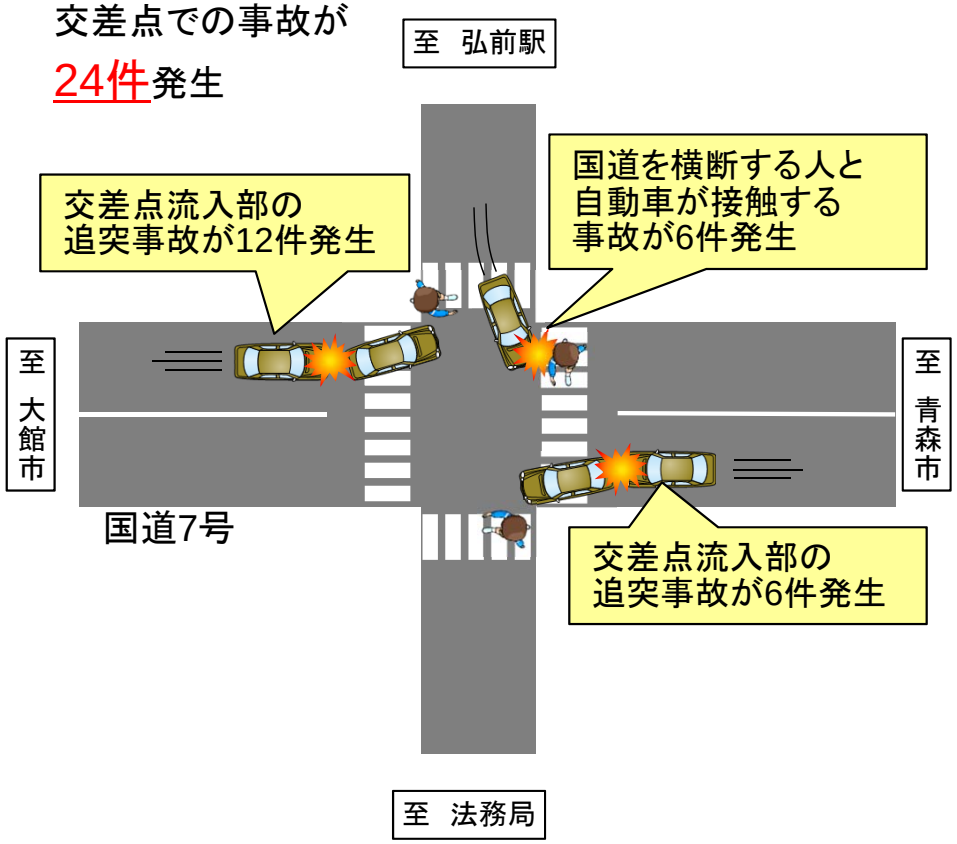
○対策前後での交差点の事故発生状況の変化

対策前の事故発生状況(H15.1～H24.12の10年間)

■当該交差は、児童生徒を含め通勤者等の多くの方々が国道を横断

■そのため、国道横断中の人対自動車の事故が発生している非常に危険な交差点

■交差点流入部の追突事故も多発している状況



対策後の事故発生状況(H25.4～H26.2の11ヶ月間)

■さくら地下道の開通により、国道横断者を地下道に誘導
⇒歩行者と自動車が分離されることにより、人対自動車の接触事故は、0件

⇒交通円滑化により、交差点流入部の追突事故も0件

